

恒例の秋のバス旅行、今回は、北茨城の「袋田の滝から花貫溪谷」の紅葉散策の旅でした。天候も穏やかな晩秋で、大型バス1台、総勢48名の満席でした。ちょっと遠隔地でしたので、途中で新しくできた「道の駅・常陸大宮」に立ち寄り、茨城の名産品などの買い物も楽しめました。《旅行日》 平成30年11月27日（火）



《道の駅・常陸大宮》

参加の ご一行さま。

西柴の称名寺東公園を、午前7時出発し到着した道の駅です。

ご当地の特産農産物で「エゴマ油」は、直前のテレビ放送で健康効果の報道があり、アッと云う間に売れてしまった由。皆さん掘り出し物を購入されていました。

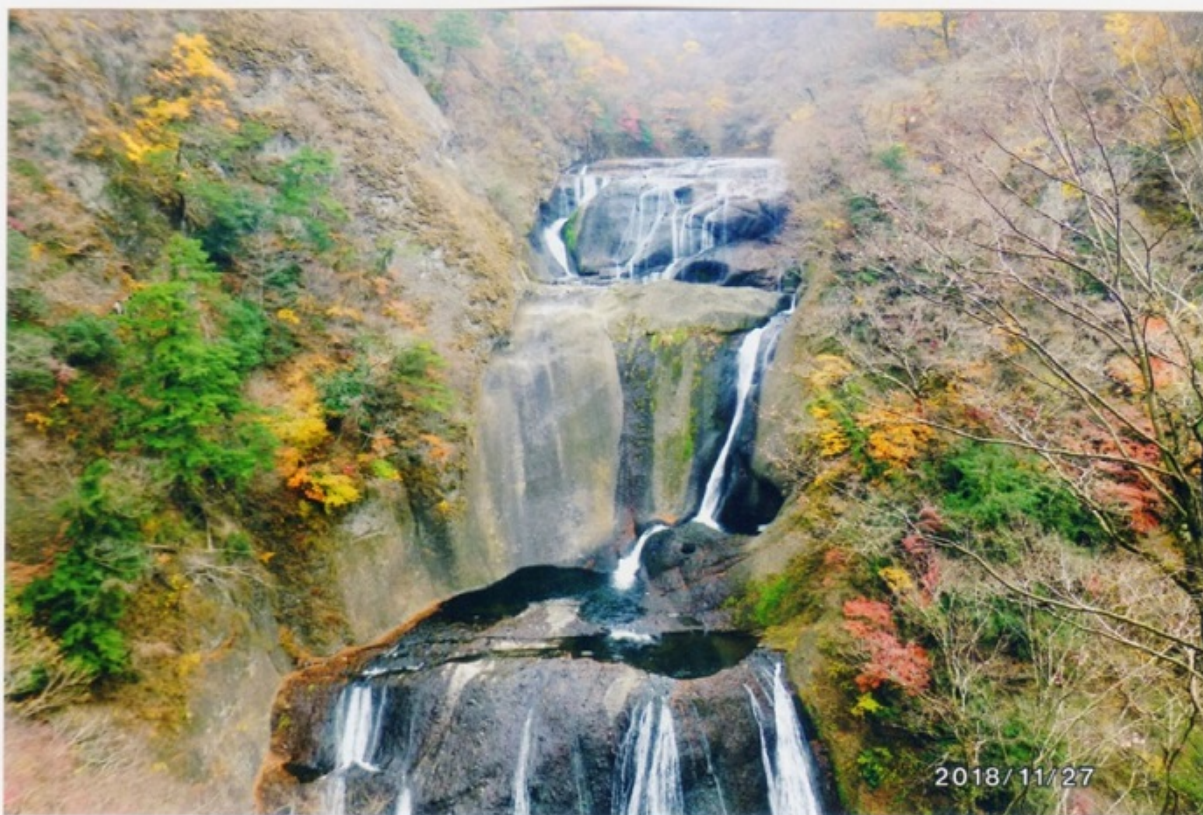


《道の駅の建物の裏は、久慈川の流れがゆったりとした、ひなびた雰囲気のパークでした》



《袋田の滝への道ゆき》

生涯学習西柴の旗を掲げて（黄色とピンクがあります）、バスガイドさんと共に先導をする運営委員のIさん。この後トンネルを抜けて「袋田の滝」の前に出ました。



《袋田の滝》

茨城県久慈郡大子町袋田にある滝です。日本の名勝に指定されていますが、華厳の滝、那智の滝と共に、日本3大名瀑のひとつに挙げられている由。

滝の長さは（高さ）120メートル、幅73メートルの大きさ。

滝の流れが大岩壁を4段に落下することから、別名「四度の滝」とも呼ばれる由。

今回の紅葉は11月も下旬であったためか、紅葉は終盤のようでした。残念！



《滝への入場口から、滝の前までのトンネルの中》

このトンネルは、長さ276メートルあり、途中に川の流れが見られる展望口があります。この写真の場所のモニュメントは「恋人の聖地」と呼ばれるもので、大子町の鳥である「オシドリ」をモチーフにしたものだそうです。



《花貫溪谷の流れと紅葉》

溪谷に入る前に、花貫物産センターに寄りました。ここでこの北茨城・高萩市・の名産と言われる、「花貫フルーツほおずき」（9月ごろ、NHK テレビタ方放送・季節の便りでたまたま放映されました）をようやく手に入れ参加者の皆さんにささやかなプレゼントをしました。



《花貫溪谷・汐見滝吊り橋》

溪谷の紅葉並木をゆっくりと歩きながら周囲の紅葉を楽しみました。

途中に名所として、「汐見滝吊り橋」がありました。紅葉の最盛時にはこの吊り橋は真っ赤なモミジが絨毯の敷物のように橋を覆うこともあるそうです。

今回は、その光景はありませんでしたが、吊り橋を怖さを感じずに皆さん往復されました。



《花貫駐車場の紅葉》

途中集合写真の撮れる場所（スペースとして）がなく、帰途へのバスに乗車前に紅葉をバックに撮れました。

帰宅は予定より少し遅くなりましたが、楽しい1日を過ごすことができました。

次回は、来年の5月、4火曜日をしています。またのご参加をお待ちしております。

（ お わ り ）